

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 豊かな出会いでにぎわうまち

施策番号・名 18 地域産業の振興

基本事業番号・名 18-05 商業環境づくりへの支援

事務事業番号	所管課係名		事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)			
	事務事業名	対象		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)	
18-05-01	産業振興課	対象	市内商店会	市内商店会数	平成21年度	補助金を申請した 商店会数	平成21年度	市内商店会数に 対する補助金を交付 申請した商店会の 割合	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)	
	新・元気を出せ商店街 事業	手段	市内商店会が実施するイベント事業、活性化事業に対し、新・元気を出せ東久留米市商店街事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。		20		10		50	12,894	1,007	13,901	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名:	産業振興課 小山輝男		
					平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		23年度以降に向けた方向性	現状維持
					20		10		50	42,845	988	43,833	東京都の間接補助であり、H22年度に予定されている商店街実態調査の結果を勘案しながら改善していく余地はある。(年々利用実績や件数が減少傾向にある)。					
意図	各商店会が実施するイベント事業・活性化事業に対し補助金を交付することにより、商店会の振興をはかる。		平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度							
					20		11		55	13,300	897	14,197						
18-05-02	産業振興課	対象	市内商店会等	商店会数	平成21年度	補助金を交付申請 した商店回数	平成21年度	商店会数に対する 補助金交付商店会 の割合	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)	
	東久留米市商店街活性化 対策事業	手段	各商店会等が独自で行う事業に対し、補助金を交付する。		20		4		20	2,151	672	2,823	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名:	産業振興課 小山輝男		
					平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		23年度以降に向けた方向性	現状維持
					20		7		35	3,485	960	4,445	現在は、補助対象経費の3分の2の補助であるが、負担が発生することがネックとなり申請に至らない商店街も多い。利用件数、利用額も年々減少してきている。補助メニューの改良が必要か。					
意図	商店街の活性化		平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度							
					20		6		30	2,751	897	3,648						